

睡眠時無呼吸症候群について

睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは

睡眠中、頻回に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態の為、質のよい睡眠が取れず日中の強い眠気や疲労感の自覚症状をともなう病態のことです。 SASでは、運転中に突然意識を失うような睡眠に陥ることもあります。



睡眠時無呼吸症候群(SAS)の主な症状

- 大きないびきをかく
- 睡眠中の呼吸が苦しそう
- 息が止まっているみたい
- 息が苦しく目覚める
- 朝起きた時、頭痛や頭重感
- 疲労感、倦怠感の蓄積
- 昼間に強い眠気を感じる（感じない場合もある）



(SAS)は運転能力を低下させ、交通事故のリスクが高くなる

- SASによる居眠り運転で発生する事故は 1) ひとりで運転中 2) 渋滞で低速運転中 3) 高速や郊外の直線道路走行中が多いといわれています。
- 重度のSAS患者は、短期間に複数回の事故を引き起こしやすいともいわれています。



(SAS)の早期発見・早期治療は必要不可欠です

- SASは治療しないで放置すると高血圧、糖尿病、不整脈、脳卒中、虚血性心疾患などの危険性を高めます。また肥満はSASの発症・悪化に影響を及ぼし、脳疾患は運転中の突然死にも繋がる健康起因事故の主原因です。
- 定期健康診断と合わせてSASの検査が推奨されています。

当院では自宅でできる(SAS)の簡易検査を実施しております。(予約制)



医療法人仁愛会 **日立おおみか病院**

日立市大みか町 2-22-30

TEL 0294-52-4455

SAS検査のながれ

1) 初診

医師と面談を行います。そして簡単な問診表を記入していただきます。

その結果 問題なしの方 ⇒ 帰宅

簡易検査が必要な方 ⇒ 検査日の設定（予約） ⇒ 帰宅

(3割負担の場合おおよそ900円前後)

2) 通院2回目（簡易検査を実施する日）

- ① SASに関する調査票に答えていただきます。
- ② 簡易検査の為の機器の説明、及び装着について説明を受けます。
- ③ 検査機器を持ち帰り、睡眠時に装着して自宅で検査を実施します。（翌朝取り外し）

簡易検査＝パルスオキシメトリ法による検査で、指先につけたセンサーにより睡眠中の酸素飽和度をモニタ

リングして、呼吸障害の程度を客観的に把握する検査 (3割負担の場合おおよそ3000円前後)

(写真は実際の機器と異なります)



3) 通院3日目（前日装着した検査機器を病院受付へ返却します）

病院は機器のデータを分析します。検査結果については10日から14日程度の日数がかかります。

(費用 0円)

4) 通院4日目（簡易検査の結果についての説明）

簡易結果の結果については

- ・正常（経過観察）
- ・さらに精密検査が必要（1泊入院）
- ・速やかに治療開始

のいずれかに該当しますので、医師から詳細な説明を受けます。 (3割負担の場合おおよそ400円前後)

精密検査（確定診断）＝ 1泊での入院検査で、PSG検査（終夜睡眠ポリグラフ検査）です。睡眠時に、体に種々のセンサーを付け、脳波、心電図、口や鼻からの気流、胸部や腹部の動き、動脈血の酸素量、いびきなどを記録し総合的に解析する検査です

当院では、16時に来院し、着替え、シャワー、食事や就寝準備終了後、検査の為のセンサーを装着して、20時に就寝して検査を開始します。翌朝6時以降に起床し、看護師が機器をとりはずして終了となります。

(検査のイメージ)

(1日4000円の個室で検査を行い、3割負担でおおよそ32,000円前後)



医療法人仁愛会 **日立おおみか病院**

日立市大みか町 2-22-30 TEL 0294-52-4455